

高等学校商業科採点基準

3枚のうち1

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点
1	1 働くすべての人びとが、仕事と、趣味や学習、地域活動といった仕事以外の生活との調和をはかり、仕事と生活の両方をともに充実させる生き方のこと。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5
	2 過疎化で商店が撤退・廃業したり、高齢で行動範囲が狭くなったりして、食料品や生活必需品の買い物に困る人。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5
	3 メーカーが商品開発・納品に力をもつナショナル・ブランド商品に対し、小売業者が主導して開発し、卸売業者を通さずに販売することにより、小売価格を低く抑えることができる商品。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5
	4 商品やサービスなどを購入したり、通貨に交換して送金したりすることが可能な、インターネット上でやりとりできる財産的価値のある電子データ。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	5
	5 (1) 5,046,500 [円] (2) 76,000 [円]		5 5
2	1 ビジネスに関する個別の事実的な知識、一定の手順や段階を追って身に付く個別の技術のみならず、それらが相互に関連付けられるとともに、具体的なビジネスと結び付くなどした、ビジネスの様々な場面で役に立つ知識と技術、将来の職業を見通して更に専門的な学習を続けることにつながる知識と技術などを身に付けるようにすること。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10
	2 <ul style="list-style-type: none"> ・単元など内容や時間のまとまりを見通して、その中で育む資質・能力の育成に向けて、生徒の主体的・対話的で深い学びの実現を図るようにすること。その際、商業の見方・考え方を働かせ、企業活動に関する事象を捉え、専門的な知識、技術などを基にビジネスに対する理解を深めるとともに、ビジネスの振興策などを考案して地域や産業界等に提案し、意見や助言を踏まえて改善を図るなどの実践的・体験的な学習活動の充実を図ること。 ・商業に関する各学科においては、「ビジネス基礎」及び「課題研究」を原則として全ての生徒に履修させること。 ・「財務会計Ⅱ」については、「財務会計Ⅰ」を履修した後に履修させることを原則とすること。 ・地域や産業界等との連携・交流を通じた実践的な学習活動や就業体験活動を積極的に取り入れるとともに、社会人講師を積極的に活用するなどの工夫に努めること。 ・障害のある生徒などについては、学習活動を行う場合に生じる困難さに応じた指導内容や指導方法の工夫を計画的、組織的に行うこと。 	2つ書かれていればよい。 内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	各5×2
3	1 2.8		10
	2 A I D M Aモデルでは商品を購入するまでが購買行動と考えられていたのに対して、A I S A Sモデルではソーシャルメディアによる双方向のコミュニケーションが可能となり、购买前に商品情報を得るだけでなく、購買後に商品の評価などを他の消費者と共有することまでを組み込んだモデル。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	15

高等学校商業科採点基準

3枚のうち2

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]	採 点 上 の 注 意	配 点	
4	1 観光地に著しく多くの観光客が押し寄せた結果、住民の生活環境や自然環境、滞在している観光客自身の満足度などに対して負の影響が生じる現象。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10	
	2 地元の良さを再認識できる、自宅から30分から1時間程度で行ける範囲での観光を楽しむ旅行。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10	
5	1 従来の財務情報だけでなく、環境 (Environment) ・社会 (Social) ・ガバナンス (Governance) の要素も考慮した投資。	内容を正しく捉えていれば、表現は異なってもよい。	10	
	2 オフィス、店頭などにおける受付係や案内係としての応対、電話での応対、商取引に関する会話、観光案内などビジネスにおける外国人との平易な外国語を用いた会話について、具体的な場面を想定したロールプレイングなど実践的・体験的な学習活動を行う。	問いを正しく捉えていれば、内容は異なってもよい。	15	
6	1 (1) 3,596,000 [円] (2) 為替差 (益) 140,000 [円] (3) 1,680,000 [円]		5	
			5	
			5	
	2 (1) (2)	① 6,965,000		各 5 × 2
		② 9,058,000		
		③ 7,558,000		5
7	1 (1) 100 [日] (2) 130 [日]		5	
			5	
	2 ア		10	
	3 ウ		10	

【注意】問題によっては、部分点を可とする。

問題番号	正 答 [例]			採 点 上 の 注 意	配 点	
8	過程	学習活動	指導上の留意点 (◆努力を要する状況と判断した生徒への指導の手立て)	評価規準 (評価方法)	問いを正しく捉えていれば、内容は異なっていてよい。	20
	展開	<p>○地域の特徴について、魅力と課題を整理する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個々に調べた内容を出し合い、グループ内で情報共有を行う。 ・グループ内で共有した情報を、KJ法を用いて整理・分類する。 <p>○課題を分析して、要因を特定する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整理・分類した課題について、課題が生じる要因の分析を行い、課題を具体化する。 <p>○具体化した課題の中から、地域の魅力を活用することによって解決できる課題を絞りこむ。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・整理した魅力の中から、課題の解決につながるものを選ぶ。 ・解決の見通しについて確認し、課題を決定する。 	<p>○地域の課題解決に取り組むことが、自分の生活や将来につながるということを意識させる。</p> <p>○課題が生じる要因の分析を行わなければ効果的な解決策は生まれないことを理解させる。</p> <p>○シンキングツール（マトリックス図やピラミッドチャートなど）を活用して課題を具体化させる。</p> <p>◆シンキングツールの記入が進まないグループには、チャートをテーマごとに階層化するなどして、つながりを視覚的に理解させ、記入が進むように支援を行う。</p> <p>○様々な立場（地域住民・旅行者など）の視点を用いることにより、科学的な根拠に基づいて解決できる課題を絞りこむことを促す。</p>	身近な地域の課題を発見し、科学的な根拠に基づいて解決を目指す課題を絞りこんでいる。 (ワークシート)		
	まとめ	<p>○本時の授業を振り返り、個人のワークシートに記入する。</p> <p>○次時の学習内容について説明を受ける。</p>	<p>○前時までの個人作業と比較して、本時のグループワークで学んだことやできるようになったことをワークシートに記入するように助言する。</p>			